

# 奈良県観光戦略本部平城宮跡周辺エリア部会の進捗について

平城宮跡歴史公園(県営公園区域)のにぎわいづくりに向け、令和6年度にとりまとめた平城宮跡のあり方を踏まえ、民間事業者を選定するための事業手法・事業者選定条件について、平城宮跡周辺エリア部会に設けたワーキンググループにて議論を深めました。

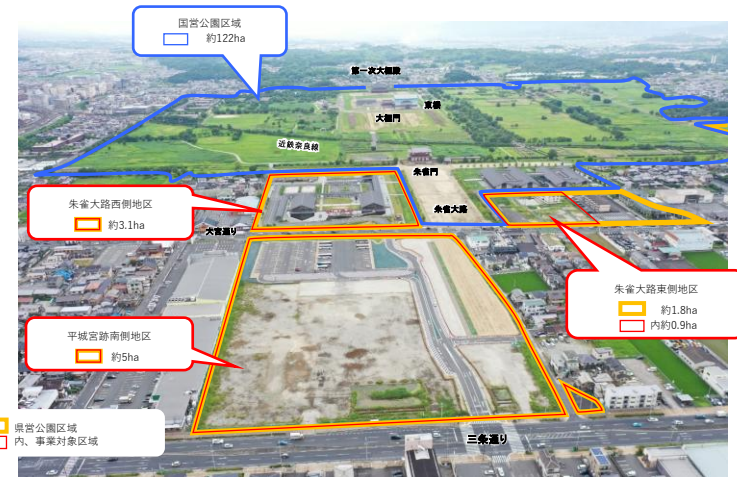
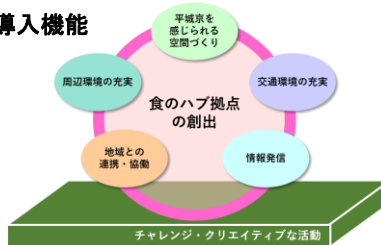
## 令和6年度 平城宮跡のあり方のとりまとめ

平城宮跡のあり方となる「構想・コンセプト」と「導入機能」をとりまとめ

### ■構想・コンセプト

“日本の食のはじまりは奈良”  
世界と交わり・地域とつながる空間づくり

### ■導入機能



## 令和7年度 民間事業者を選定するための事業手法・事業者選定条件のとりまとめ

### ワーキンググループ

(事務局:まちづくり推進局)

### ■構成

#### ①事業手法・事業者選定条件

#### ②奈良の食文化

#### ③ランドスケープ

#### ④情報発信・コンテンツ

| ワーキンググループ     | 座長    | 役職等                                         | 専門       |
|---------------|-------|---------------------------------------------|----------|
| ①事業手法・事業者選定条件 | 鶴殿 裕  | 一般財団法人ローカルファースト財団 理事 主席研究員<br>国土交通省PPPサポーター | ファイナンス   |
| ②奈良の食文化       | 杉山 尚美 | ガストロノミー・ツーリズム研究所 CEO                        | 食        |
| ③ランドスケープ      | 平賀 達也 | 株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役                       | ランドスケープ  |
| ④情報発信・コンテンツ   | 大木 秀晃 | 株式会社OOAA クリエイティブディレクター                      | marketer |

### ■検討状況

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 5月     | ・ ワーキンググループの立ち上げ        |
| 6月～12月 | ・ 事業手法、事業者選定条件のアイデア出し   |
| 1月～2月  | ・ 事業手法(案)、事業者選定条件(案)の検討 |
| 3月     | ・ 事業手法、事業者選定条件のとりまとめ    |

### 各WGでの 主な意見

- ・ 食をテーマとした平城宮跡を拠点に、県内各地へ着地型観光につなげる。【②】
- ・ ハブ性、体験、チャレンジ・クリエイティブをキーワードとする。【②、④】
- ・ 情報発信には、事前、事中、事後の三段階がある。誰が、どの段階の発信する情報なのかを意識する必要がある。【④】
- ・ チャレンジ・クリエイティブな活動を行う人が集まれるプラットフォームがあると望ましい。【④】
- ・ HIA(遺産影響評価)や景観計画等を踏まえ、平城宮跡、景観への配慮が必要。【③】
- ・ 大宮通りの横断施設など、官民の役割分担の整理が必要。【③】
- ・ 事業手法はPFI法に基づくPFI事業を軸に考えていく。【①】
- ・ 民設民営の方針のもとで事業者を選定するならば、都市公園における建蔽率を踏まえ検討する必要がある。【①、③】

各ワーキングの意見を踏まえ、令和8年度に民間事業者を選定します。

## スケジュール

